

削減施策【削減施策の類型：I. 燃料転換】

* 本事例は令和7年度科学技術イノベーション創造推進委託費 削減実績量の算定に係る実証事業（26年1~3月）での報告内容を一部改訂して作成

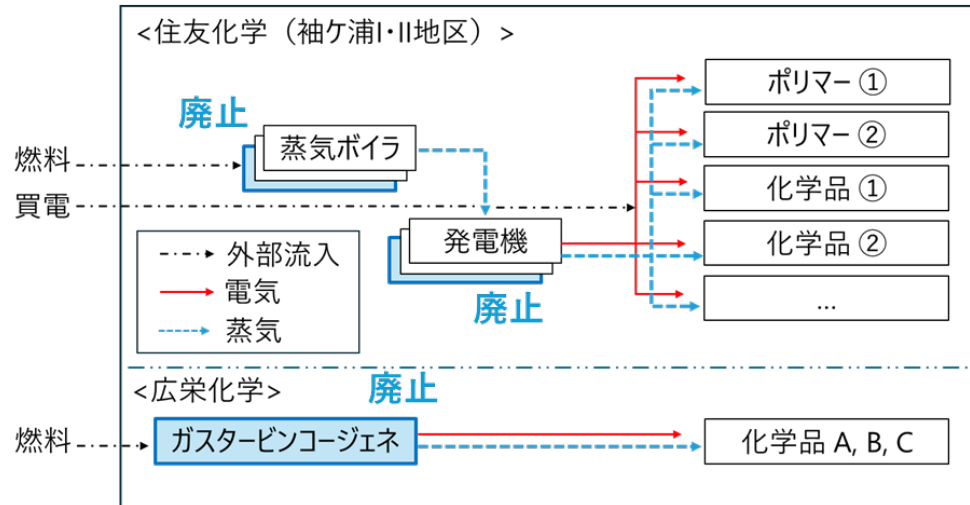


高効率ガスタービン導入

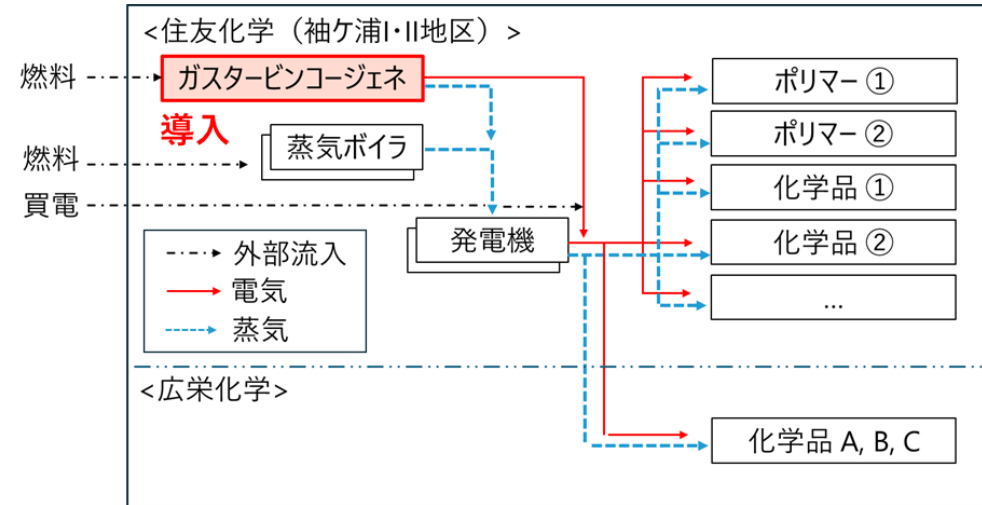
千葉工場では、温室効果ガス排出削減の取り組みの一環として、複数の火力発電設備の内、石油コークスを燃料とする火力発電設備を廃止し、CO₂排出係数が低い液化天然ガス(LNG)を燃料とする高効率ガスタービン発電設備を2024年3月に稼働開始しました。これにより、年間24万トン以上のCO₂削減を実現しています。

出典：2025csr_chiba.pdf

【導入前_比較対象期間(2022年度)】



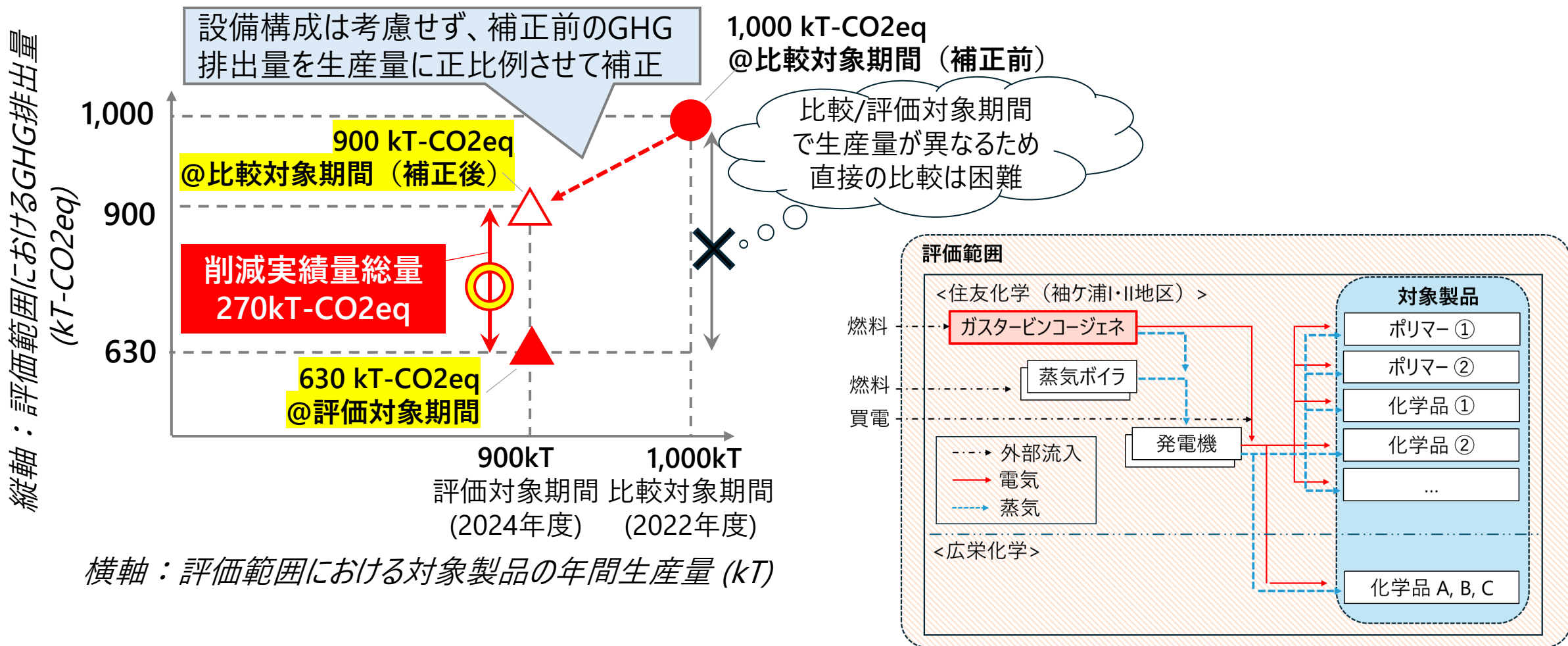
【導入後_評価対象期間(2024年度)】



削減実績量総量の算定

- 評価範囲での燃料使用量及び買電量から算出した削減実績量総量 (補正込)は、270kT-CO₂eq

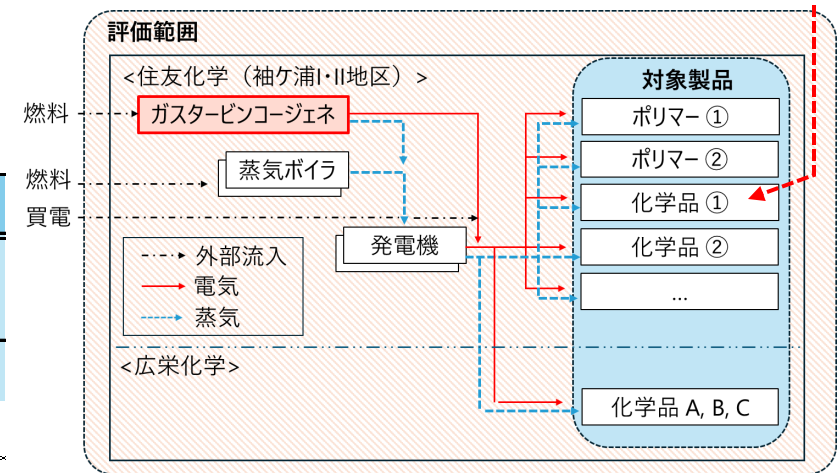
注：以下は事例紹介のための仮定値であり、本事例の実際の削減実績量とは異なる



削減実績量総量の算定結果（割当結果含む）

注：以下は事例紹介のための仮定値であり、本事例での実際の削減実績量とは異なる

割当を受ける製品



項目	結果	備考
I. 削減実績量総量	270 kT-CO2eq	算定した全量が住友化学に 帰属したと仮定
II. 削減実績量総量の割当及び割当を受けた評価対象製品の生産量		
割当を受ける評価対象製品	2025年度の化学品①のみ	
割当を受ける評価対象製品の生産量	300 kT	2025年度の計画生産量
うち、割当を受ける量	75 kT (270÷3.60)	化学品①の割当上限まで 割当と仮定
割当を受けない量	225 kT	
削減実績量総量の割当量	270 kT-CO2eq	
単位評価対象製品当たりの割当量	3.6 T-CO2eq/T-化学品①	
III. 評価及び比較対象期間における割り当てを受ける評価対象製品の Cradle-to-GateでのGHG排出量		
比較対象期間	3.6 T-CO2eq/T-化学品①	
評価対象期間	3.3 T-CO2eq/T-化学品①	

